

# 地域学校協働活動だより

インターネットでの枕崎市ホームページの検索方法

枕崎市地域学校だより ホームページ  
QRコード

発行

枕崎市  
教育委員会  
生涯学習課

「地域学校協働活動だより」は枕崎市のホームページにも掲載されています。QRコードやパソコンで検索して、カラー写真付きの記事をご覧ください。

## ～読書活動で郷土の民話を伝承～ 立神小学校

立神小学校では読書活動の一環として郷土の民話の伝承を行っており、枕崎市立図書館の職員の方に来ていただいて、10月6日に4～6年生、15日に1～3年生に郷土の民話の読み聞かせを行いました。



「郷土の民話の伝承」は、立神地区公民館の青少年講座も兼ねていて、地域の子供たちに枕崎の民話を語り継いでほしいということで、毎年行われています。

今年読み聞かせを行った民話は「仙が瀬（せんがせ）」という市立図書館が製作した絵本で、「親

思いの『お仙』という娘が船から海に落ちてしまったが、波間に瀬が現れて命が助かり、その瀬を『仙が瀬』と呼ぶようになった。」という別府の白沢地域に伝わる民話をもとにしたものです。

体育館でプロジェクターに絵を映し出して民話の読み聞かせを行うと、子供たちは興味津々に聞き入っていました。

市立図書館では枕崎の民話の絵本を4冊作成していて、貸出もできます。ぜひ市立図書館で郷土の絵本をご覧ください。



別府小学校では5年生の社会科の授業の中で、市内の桜山地区の米作り農家である鮫島裕次さんに、子供たちが班ごとにリモートでインタビューを行いました。

鮫島さんからは「枕崎では台風が来るので、早期米を育てて、8月には収穫できるようにしている。」「米の生産量が少ないので、農協は通さずに個人で販売している。」などの話がありました。

教科書では米作りの盛んな地域として、山形県の庄内平野が取り上げられていましたが、鮫島さんから話を聞いて、枕崎市と庄内平野の米作りの違い、枕崎での米作りの工夫と努力について学習することができました。

## ～米作り農家に リモートインタビュー～ 別府小学校



学校応援団ボランティア 募集中!

詳しくは  
生涯学習課まで

TEL76-1286

立神小学校では、小学校1～2年生と地域の老人クラブの方々が「こま回し」や「竹トンボ」など12種類の「昔の遊び」体験で交流活動を行いました。立神地区公民館の青少年講座も兼ねており、毎年老人クラブの方々も子供たちと遊ぶのを楽しみにしています。

## ～12種類の「昔の遊び」を体験～ 立神小学校



子供たちは、体育館や校庭を回りながら、「どんぐりまわし」に挑戦したり、「目玉遊び」を楽しんだりして、12種類全部の遊びを体験しました。

「どんぐりまわし」は、どんぐりにつまようじを取り付けてコマにして回す遊びです。

どんぐりは、老人クラブの方が毎年野山で採ってきたものを使います。老人クラブの方がどんぐりに錐で穴を開けて、つまようじを差してコマを作ってくれました。子供たちが「どんぐりまわし」で遊んだあとは、自分たちが回したどんぐりのコマをプレゼントされて喜んでいました。

## ～家庭科でミシンの使い方の指導～ 桜山小学校

桜山小学校では10月8日に6年生の家庭科でミシンの授業があり、「たけのこ」と「家庭倫理の会」の4名の学校応援団ボ

ランティアの方が指導してくれました。子供たちはトートバッグとナップザックを作る班に分かれて、2時間の授業で作品



完成したナップザック

を仕上げる目標でしたが、ボランティアの方々に教えてもらいながら、作品づくりに取り組みました。

最初は慣れない手つきでミシンを操作していましたが、時間が経つにつれ上手にトートバッグとナップザックを縫い上げていました。



立神中学校では家庭科で2年生の2クラスがミシン、3年生が手縫いとミシンの授業があり、「一六会」と「たけのこ」「家庭倫理の会」の延べ15人の方が学校応援団ボランティアとして指導してくれました。

## ～家庭科で手縫いとミシンの指導～ 立神中学校

2年生は1組が10月18日、2組が10月21日に、「2ウェイバッグ」と「チビトートバッグ」、3年生は10月20日に幼児のおもちゃ「フェルトのボール」と「指人形」の作成に取り組みました。



2年生のバッグは、1枚の布からミシンで縫い合わせて作り上げていました。3年生は、はさみでフェルトを切り抜いて、6枚のフェルトでカラフルなボールを作っていました。

それぞれ2時間の授業で、時間に追われながらの作業でしたが、ボランティアの方々に教えてもらいながら、上手に仕上げっていました。

完成した  
2ウェイバッグ